

「文化庁メディア芸術祭浜松展」音をテーマに開催

菅野よう子氏、神山健治監督、渡辺信一郎監督のシンポジウムも実施。

「文化庁メディア芸術祭浜松展」を静岡文化芸術大学（静岡県浜松市）で、10月30日（金）から11月3日（火・祝）まで5日間にわたって開催します。

浜松市は多くの楽器メーカーが集まり、音楽のまちづくりを推進していることから、今回の展覧会のテーマを“音”として、昨年度メディア芸術祭エンターテインメント部門大賞を受賞した『TENORI-ON』をはじめ、歴代受賞作品の中から音をモチーフにしたメディアアート、アニメーション、マンガ、ゲームを集め、日本人ならではの音の感性に焦点を当てていきます。

会場では「音を奏でる」「音を読む」「音を観る」の3つのゾーンに、さまざまなジャンルの約70作品を展示するほか、長編アニメーション作品の上映やワークショップなども行います。

また、11月3日（火・祝）には、多くのアニメーション作品の音楽を手がけている菅野よう子氏と、『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』の神山健治監督、『カウボーイビバップ』の渡辺信一郎監督によるシンポジウムも予定しています。

文化庁メディア芸術祭は1997年から始まったアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの祭典です。毎年世界中からご応募いただき、昨年度は40ヶ国以上から2千点を超える作品が集まりました。毎年2月に東京で受賞作品展を開催するほか、海外展や地方展などを通して受賞作品を国内外に積極的に紹介しています。今年の海外展はウィーンで9月12日から20日まで、浜松展と同じく“音”をテーマにして開催します。

開催概要

名 称：文化庁メディア芸術祭 浜松展

テーマ：音

会 期：10月30日（金）～11月3日（火・祝）

時 間：11：00～19：00

会 場：静岡文化芸術大学
ギャラリー・文化芸術研究センター
（浜松市中区中央二丁目1番1号）

入場料：無料

主 催：文化庁

共 催：第24回国民文化祭静岡県実行委員会、
静岡文化芸術大学、CG-ARTS協会

U R L：http://plaza.bunka.go.jp/hamamatsu/

問合せ：http://plaza.bunka.go.jp/q/



Web サイト公開中
<http://plaza.bunka.go.jp/hamamatsu/>

展示

「音を奏でる」- Make Sound-

楽器をモチーフにしたインタラクティブアートや、先端テクノロジーを駆使した未来の楽器、誰もが音楽に親しむことができる音楽ゲームなどを展示。その他、実験的ライブパフォーマンスの映像も併せて紹介します。

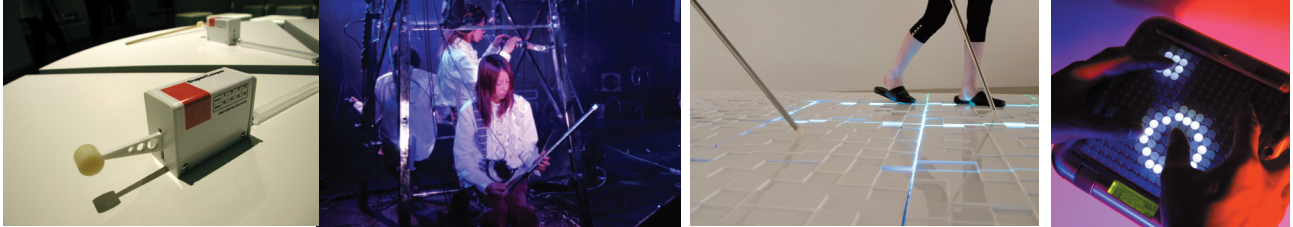
『Duper/Looper (デジタル・ガジェット 6,8,9)』 クワクボリョウタ

『Rez HD』 水口哲也

『Six String Sonics, The』 久野ギル

『SONIC Floor』 石橋 素 + 真鍋大度

『TENORI-ON』 岩井俊雄 / 「TENORI-ON」開発チーム代表 西堀 佑 (他 18 作品)



左から ©クワクボ リョウタ、© Gil Kuno Photo:Naonori Kohira 衣装協力:Garcia、©DGN+Rhizomatiks 機材協賛: カラーキネティクス・ジャパン株式会社、©岩井俊雄 / ヤマハ株式会社

「音を読む」-Read Sound-

日本のマンガに見られる、音や音楽の表現を紹介。クラシック、オペラ、ロックなど、音楽の世界を絵と文字で読ませる多彩なマンガを展示します。

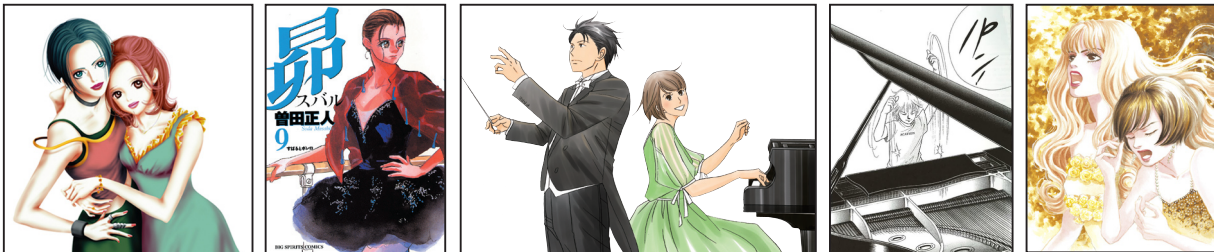
『NANA- ナナ -』 矢沢あい

『昴』 曾田正人

『のだめカンタービレ』 ニノ宮知子

『ピアノの森』 一色まこと

『プライド』 一条ゆかり (他 5 作品)



左から ©矢沢漫画制作所 / 集英社クッキー、© Masahito Soda、©ニノ宮知子 / 講談社、©一色まこと / 講談社、©さそうあきら / 双葉社、©一条ゆかり / 集英社

「音を観る」-Watch Sound-

音楽と映像がメッセージ性を携えてコラボレーションしているミュージックビデオやライブパフォーマンスビデオ、サウンドデザインが作品世界を強く印象付けるアニメーションを上映します。

『ACIDMAN short film ▶「彩-SAI-(前編) / 廻る、巡る、その核へ』 西郡 勲

『CORNELIUS "Fit Song"』 辻川幸一郎

『HIFANA "WAMONO"』 + CRUZ (W+K 東京 LAB)

『スキマスイッチ PV "アカツキの詩"』 稲葉卓也

『Plugged』 古賀 庸郎 / 山本 信一

『電気グルーヴ / 弾けないギターを弾くんだぜ』 ピエール瀧 (他 28 作品)



左から ©東芝 EMI、©株式会社ワーナーミュージック・ジャパン / スリー・ディー株式会社、© AUGUSTA RECORDS / BMG JAPAN

イベント

■ シンポジウム

「音楽がアニメーションをどう変えるか Animation Metamorphoses」

出演：菅野よう子／作曲家・編曲家・プロデューサー

神山健治／『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX』監督

渡辺信一郎／『カウボーイビバップ』『Genius Party』(BABY BLUE) 監督

司会：佐藤大／脚本家

日時：11月3日(火・祝) 14:00～16:00 【参加無料・要申込】

会場：静岡文化芸術大学講堂

申込み：Web エントリーまたは往復ハガキ（氏名・住所・年齢・職業・メールアドレス、車イス使用の有無を明記し下記まで送付）

締切：10月12日(月・祝) *ハガキの場合は当日消印有効



© 士郎正宗・Production I.G/ 講談社・攻殻機動隊製作委員会

■ ワークショップ

「TENORI-ON ワークショップ」

日時：11月1日(日) 14:00 開始 (2～3時間を予定) 【参加無料・要申込】

会場：静岡文化芸術大学ギャラリー

協力：ヤマハ株式会社

申込み：Web エントリーまたは往復ハガキ（氏名・住所・年齢・職業・メールアドレス・参加人数(3名まで)・参加者氏名を明記し下記まで送付）

締切：10月20日(火)



© サンライズ・ボンズ・バンダイビジュアル

申込み送付先

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-11-2

CG-ARTS 協会「メディア芸術祭浜松展シンポジウム係」

CG-ARTS 協会「メディア芸術祭浜松展ワークショップ係」

*出演者は都合により変更する場合があります。 お申込みが多数の場合は抽選となります。

上映

■ 上映会

アニメーションは映像表現だけでなく、サウンドデザインや音楽も重要な要素です。今回は音楽に特徴のある長編アニメーション、3作品を上映します。

会場：静岡文化芸術大学 講堂

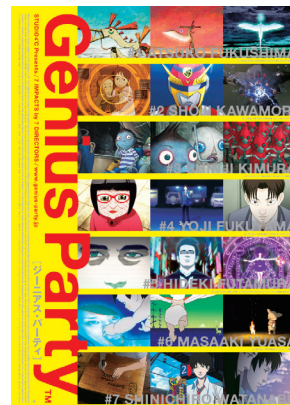
上映作品：

10月31日(土)13:30～ 『Genius Party』

10月31日(土)16:30～ 『カウボーイビバップ 天国の扉』

11月1日(日)16:30～ 『攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX Solid State Society』

*入場無料、当日先着順となります。



© Genius Party

この件に関する問合せ先

CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>

広報分室 友野・安藤 (プランデックス・ジャパン) TEL 03-3564-2361 FAX 03-3564-5238

CG-ARTS 協会は 1992 年に設立した文部科学省所轄の財団で、主に CG 分野における『人材育成』と『文化振興』を行っています。